

財務の概要 (令和3年度)

部門：学校法人日本工業大学における令和3年度決算の概要は、次の通りです。

部門 法人全体

決算の概要 (事業活動収支) 基本金組入前当年度収支差額は468百万円の赤字となり、翌年度繰越収支差額も935百万円の悪化となりました。
(貸借対照表) 総資産が189百万円減少する一方、総負債は279百万円増加し、純資産は468百万円減少しました。

1. 資金収支計算書

科目	令和3年度	令和2年度	増減
資金収入	10,445 百万円	8,622 百万円	1,823 百万円
※収入の部合計 - 前年度繰越支払資金			
資金支出	9,362 百万円	9,492 百万円	△ 130 百万円
※支出の部合計 - 翌年度繰越支払資金			

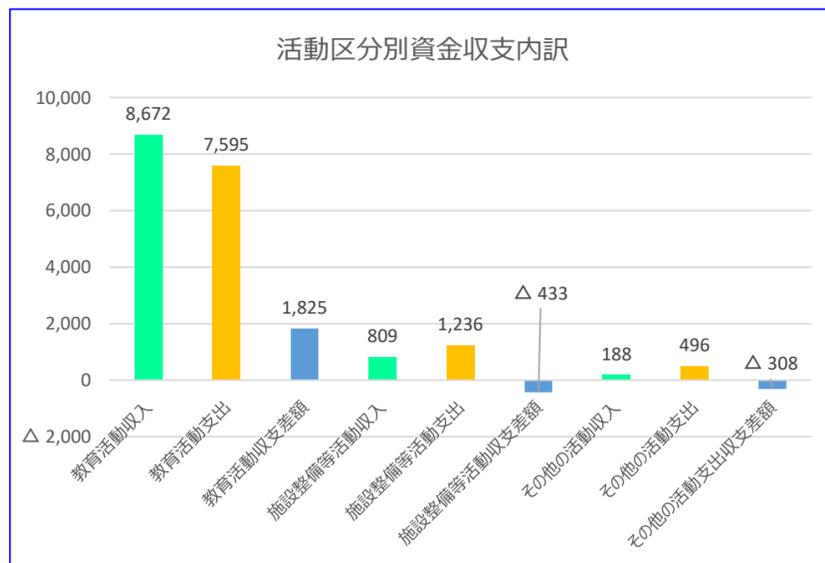
前受金が646百万円、特定資産の取崩収入が740百万円それぞれ増加したことから、資金収入は大幅に増加しました。資金支出に大きな変化はありません。

【主な支出】施設関係支出 (大学)		施設・設備売却収入 (法人)	
①建物：中央監視設備更新工事	80 百万円	①土地：カナダ研修所敷地 売却	10 百万円
②建物：E21・E27棟建築工事	68 百万円	②建物：カナダ研修所建物売却	31 百万円
③建物：E1空調関連工事	64 百万円	③車両：カナダ研修所生徒輸送用バス売却	4 百万円
④構築物：受水槽及び給水ポンプ廻り更新工事	51 百万円		
(中高)			
⑤建物：図書館工事	118 百万円		
⑥建物：100周年ホール地下1階改修工事	32 百万円		

2. 活動区分資金収支計算書

【活動区分資金収支計算書】
資金収支計算書の決算額を、「①教育活動」「②施設整備等活動」「③その他の活動」の三つの活動区分ごとに区分し、活動区分ごとの資金の流れを明らかにします。
※活動区分資金収支計算書は、制度的には法人全体の決算値のみが必要とされるものですが、各部門の決算額の積み上げが基礎となるため、部門における活動状況を明示いたします。

活動区分	収入計		支出計	
教育活動	8,672	90%	7,595	81%
施設整備等活動	809	8%	1,236	13%
その他の活動	188	2%	496	5%
収支計	9,669	100%	9,328	100%



●収支状況
教育活動の収入は全体の90%に対し支出は81%、教育活動収支差額は調整勘定も含めて1,825百万円の黒字となっておりますが、実質的なプラス幅は縮小傾向にあります。一方、施設整備等活動収支は433百万円のマイナス、その他の活動による収支も借入金等返済に伴い308百万円のマイナスとなりました。

●補足説明
学生生徒等納付金収入・人件費・教育研究経費・管理経費はすべて「教育活動」に計上されています。
寄付金・補助金のうち、施設整備等に係るものについては「施設整備等活動」に計上され、その他の寄付金・補助金は「教育活動」に計上されています。
「その他の活動」には財務活動のほか、預かり金の受払い等の経過的な活動に係る収支が計上されています。

●繰越支払資金の増減
翌年度繰越支払資金は、教育活動収支差額のプラスを映して1,083百万円増加しました。

資金収支計算書

科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	6,605	人件費支出	4,432
手数料収入	139	教育研究経費支出	2,206
寄付金収入	105	管理経費支出	957
補助金収入	1,551	借入金等利息支出	32
資産売却収入	45	借入金等返済支出	342
付随事業収入	97	施設関係支出	514
受取利息・配当金収入	108	設備関係支出	217
雑収入	206	資産運用支出	582
借入金等収入	1	その他の支出	276
前受金収入	2,250	(予備費)	0
その他の収入	1,075	資金支出調整勘定	△ 196
資金収入調整勘定	△ 1,737		
		翌年度繰越支払資金	6,210
前年度繰越支払資金	5,126	支出の部合計	15,572
収入の部合計	15,572		
資金収入(収入の部合計 - 前年度繰越支払資金)	10,445	資金支出(支出の部合計 - 翌年度繰越支払資金)	9,362

【資金収支計算書】
当該会計年度(4月1日～3月31日)に行った諸活動に対応するすべての収入と支出の内容と、当該年度に係る支払資金の収入と支出の顛末を明らかにする計算書です。

【当期決算の概要】
●資金収入は、メインの学納金収入が大学学生数の減少が影響し197百万円の減少となりました。また施設設備の特定資産の取崩収入増加により、その他の収入は825百万円増加しました。
●資金支出に、特記すべき事項はありませんでした。

活動区分資金収支計算書

科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	6,605	借入金等収入	1
手数料収入	139	退職給与引当特定資産取崩収入	13
特別寄付金収入	90	長期貸付金回収収入	4
一般寄付金収入	0	預り金受入収入	55
経常費等補助金収入	1,542	立替金回収収入	0
付随事業収入	97	仮払金回収収入	0
雑収入	200	差入保証金回収収入	0
教育活動資金収入計①	8,672	(小計)	73
人件費支出	4,432	受取利息・配当金収入	108
教育研究経費支出	2,206	雑収入	7
管理経費支出	957	その他の活動資金収入計②	188
教育活動資金支出計②	7,595	借入金等返済支出	342
差引③=①-②	1,077	第3号基本金引当特定資産繰入支出	68
調整勘定等④	748	退職給与引当特定資産繰入支出	3
教育活動資金収支差額⑤=③+④	1,825	育英基金引当特定資産繰入支出	5
		価格変動引当特定資産繰入支出	0
		長期貸付金支払支出	1
		預り金支払支出	44
		立替金支払支出	0
		仮払金支払支出	0
		仮受金支払支出	0
		差入保証金支払支出	0
		(小計)	464
		借入金等利息支出	32
		その他の活動資金支出計③	496
		差引④=②-③	△ 308
		調整勘定等⑤	0
		その他の活動資金収支差額⑥=④+⑤	△ 308
		施設設備寄付金収入	15
		施設設備補助金収入	9
		施設引当特定資産取崩収入	640
		設備引当特定資産取崩収入	100
		施設設備売却収入	45
		施設整備等活動資金収入計⑥	809
		施設関係支出	514
		設備関係支出	217
		第2号基本金引当資産繰入支出	200
		施設引当特定資産繰入支出	164
		設備引当特定資産繰入支出	142
		施設整備等活動資金支出計⑦	1,236
		差引⑧=⑥-⑦	△ 427
		調整勘定等⑨	△ 6
		施設整備等活動資金収支差額⑩=⑧+⑨	△ 433
		小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)⑪=⑤+⑩	1,391
		前年度繰越支払資金⑫	5,126
		翌年度繰越支払資金⑬=⑪+⑫	6,210
		繰越支払資金増減⑭=⑬-⑫	1,083

財務の概要 (令和3年度)

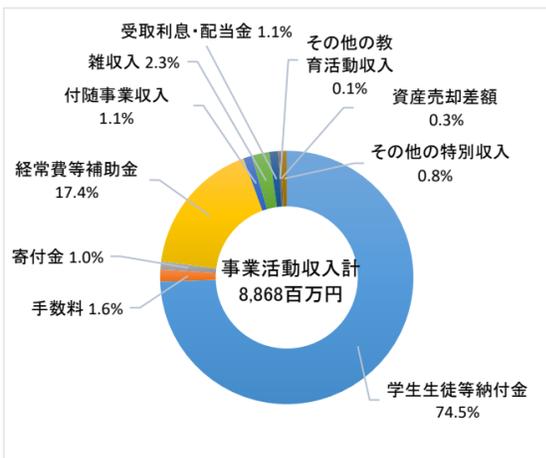
3. 事業活動収支計算書 (旧消費収支計算書)

科目	令和3年度	令和2年度	増減
基本金組入前当年度収支差額	△ 468 百万円	△ 256 百万円	△ 212 百万円
事業活動支出	9,336 百万円	9,420 百万円	△ 84 百万円
ネット基本金組入額	△ 467 百万円	△ 420 百万円	△ 46 百万円

基本金組入前当年度収支差額は468百万円の赤字となり、翌年度繰越収支差額は、基本金の組入・取崩も含めて935百万円の悪化となりました。

【事業活動収入の部】

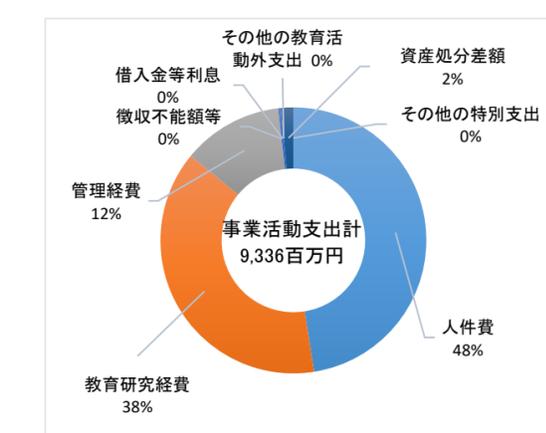
8,868 百万円



学生生徒等納付金	授業料、入学金、施設設備拡充費、実験研究費など
手数料	入学検定料、証明手数料など
寄付金	育英・研究奨励寄付金など
経常費等補助金	経常費、研究設備補助金など
付随事業収入	受託事業、補助活動、公開講座収入など
雑収入	退職金財団交付金、その他雑収入
受取利息・配当金	預貯金・有価証券の運用利息など
その他の教育活動収入	法人負担金収入が該当しますが、学校法人全体では相殺されるため計上されません
資産売却差額	資産売却の際の帳簿価額との差額
その他の特別収入	施設・設備に関する補助金・寄付金等

【事業活動支出の部】

9,336 百万円



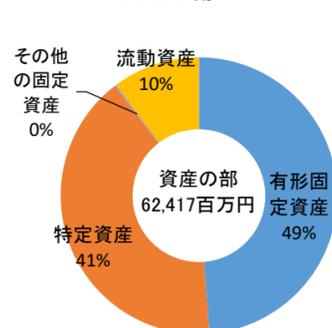
人件費	教員人件費、職員人件費など
教育研究経費	教育研究活動に直接支出される、教育環境の維持費用など
管理経費	学生生徒等募集経費、その他管理部門の経費
徴収不能額等	未収入金等が徴収不能になったときの損失あるいはその見込み額
借入金等利息	借入金返済時の支払利息
その他の教育活動外支出	法人負担金支出が該当しますが、学校法人全体では相殺されるため計上されません
資産処分差額	施設、設備等の除却損など
その他の特別支出	災害損失等の特別の損失

4. 貸借対照表

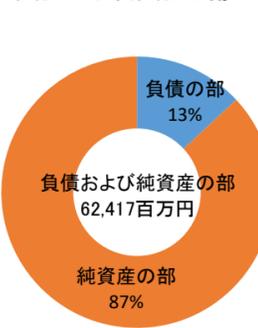
科目	令和3年度
総資産	62,417 百万円
前年度増減	△ 189 百万円
総負債	8,156 百万円
前年度増減	279 百万円
純資産	54,261 百万円
前年度増減	△ 468 百万円
基本金	59,534 百万円
前年度増減	467 百万円
繰越収支差額	△ 5,273 百万円
前年度増減	△ 935 百万円

純資産は前年度より468百万円減少し、繰越収支差額のマイナス幅が935百万円拡大しました。

資産の部



負債及び純負債の部



事業活動収支計算書

(単位 百万円)

科目	金額
収入	
学生生徒等納付金	6,605
手数料	139
寄付金	90
経常費等補助金	1,542
付随事業収入	97
雑収入	200
教育活動収入計①	8,672
支出	
人件費	4,435
教育研究経費	3,590
管理経費	1,138
徴収不能額等	0
教育活動支出計②	9,163
教育活動収支差額	① △ 491
科目	金額
収入	
受取利息・配当金	99
他教育活動収入	7
教育活動収入計③	106
支出	
借入金等利息	32
他教育活動支出	0
教育活動外支出計④	32
教育活動外収支差額	② 74
経常収支差額	③ △ 417

科目	金額
収入	
資産売却差額	22
その他の特別収入	68
特別収入計⑤	90
支出	
資産処分差額	141
その他の特別支出	0
特別支出計⑥	141
特別収支差額	④ △ 51
(予備費)⑦	0
基本金組入前当年度収支差額 (旧帰属収支差額)	⑤ △ 468
基本金組入額合計	△ 528
当年度収支差額	⑥ △ 996
前年度繰越収支差額	△ 4,339
基本金取崩額	61
翌年度繰越収支差額	△ 5,273
(参考)	
事業活動収入計(旧帰属収入) (①+③+⑤)	8,868
事業活動支出計(旧消費支出) (②+④+⑥+⑦)	9,336
経常収入 (①+③)	8,778
経常支出 (②+④)	9,195

主な用語解説

教育活動収支	経常的な収支のうち、「教育活動外収支」以外のもの
教育活動外収支	経常的な収支のうち、財務活動(資金調達・資金運用)及び収益事業に係る活動によるもの
特別収支	特殊な要因によって一時的に発生した臨時的なもの(資産売却差額・資産処分差額・施設設備寄付金・施設設備補助金・過年度修正額など)
① 教育活動収支差額	経常的な収支のうち、本業の教育活動の収支状況を表すもの
② 教育活動外収支差額	経常的な収支のうち、財務活動による収支状況を表すもの
③ 経常収支差額	経常的な収支均衡状況を表すもの。
④ 特別収支差額	特殊な要因により、一時的に発生した臨時的な事業活動収支及び「教育活動及び教育活動以外の経常的な活動以外の活動」に係る事業活動収支を表すもの。
⑤ 基本金組入前当年度収支差額	従来の帰属収支差額。毎年度の収支均衡状況を表すもの。基本金組入額を控除する前の全ての事業活動収入と事業活動支出の収支状況
⑥ 当年度収支差額	従来の消費収支差額。長期の収支均衡状況を表すもの。基本金組入前当年度収支差額から基本金組入れ額を控除した当該会計年度の収支状況

貸借対照表

(単位 百万円)

資産の部	金額
固定資産	56,056
有形固定資産	30,449
土地	4,998
建物	21,149
構築物	1,191
機器備品	1,494
図書	1,597
建設仮勘定他	21
特定資産	25,471
その他の固定資産	136
流動資産	6,361
現金預金	6,210
その他	152
資産の部合計	62,417

負債の部・純資産の部	金額
固定負債	5,161
長期借入金	3,979
長期未払金	0
退職給与引当金	1,182
流動負債	2,995
短期借入金	341
前受金	2,250
その他	404
負債の部合計	8,156
基本金	59,534
繰越収支差額	△ 5,273
純資産の部合計	54,261
負債及純資産の部合計	62,417

【事業活動収支計算書】
当該年度の活動における事業活動収入及び事業活動支出の内容及び基本金組入後の均衡の状態を明らかにし、経営状況を表します。企業会計の損益計算書の目的に類似した計算書です。

【当期決算の概要】
(教育活動収支の部)
収入面では、大学学生数の減少が影響し学納金は197百万円減少、また経常費等補助金は72百万円減少しました。支出面では、管理経費が125百万円減少し、人件費、研究教育費はそれぞれ微減となりました

(教育活動外収支・特別収支の部)
特別収支のその他の特別収入は、カナダ研修所売却に伴う資産売却差額を計上しています。

(翌年度繰越収支差額)
基本金組入前当年度収支差額は△468百万円、基本金組入額から取崩額を差し引いたネット基本金組入額は467百万円の組入れとなりました。その結果、翌年度繰越収支差額は935百万円悪化し、△5,273百万円となりました。

【貸借対照表】
年度末における資産・負債・正味財産(基本金、繰越収支差額)を把握し、財政状態(運用形態と調達源泉)を表します。貸借対照表は、今までの学校法人の活動を行ってきた積み重ねの結果を表します。

【当期決算の概要】
●今年度は大きな特殊要因はありませんでしたが、固定資産で1,145百万円減少し、流動資産で956百万円増加、結果総資産では189百万円の微減となりました。
●借入金の返済等に伴い、長期借入金は340百万円減少しました。
●基本金全体の残高は467百万円増加しました。
●繰越収支差額は935百万円悪化して△5,273百万円となり、純資産額は468百万円減少して54,261百万円となりました。